

## 【情報公開文書】

2019年09月10日作成

研究課題名	StageⅣ大腸癌患者に対する腹腔鏡手術の有用性に関する検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 医歯薬学総合研究科 腫瘍外科
研究責任者(職名)	富永 哲郎（助教）
共同研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2019年10月22日～2024年12月31日
研究目的と意義	StageⅣと診断された大腸癌に対し、現在のガイドラインでは手術を行わず、抗がん剤治療を行うことが推奨されています。しかし、中には治療の途中で残った大腸癌による症状で手術治療が必要となる患者さんがおられ、はじめに原発巣を手術でとることが見直されてきています。腹腔鏡手術は術後合併症の軽減や術後回復の改善に効果があるといわれています。今回、StageⅣ患者さんに対する腹腔鏡手術の有用性について調べます
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>大腸癌 StageⅣの患者さんで、2016年1月1日から、2022年12月31日の間に、大腸癌の診断を受けた方を対象とします。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、手術情報、病理検査）</p> <p>本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>上記のカルテ情報を用いて、腹腔鏡手術の有用性についてデータ解析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：富永 哲郎（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>